

1 事業の背景

医療的ケア児とその家族への支援は、医療的ケア児支援法により「**地方公共団体の責務**」とされているが、**市町村においては、医療職の人材が不足**していることもあり、**支援体制が不十分**で、相談業務などが県医療的ケア児支援センターに集中している状況。

各地域で医療的ケア児を支えるためには、福祉関係者のみならず、**医療関係者も参画する仕組みの構築が必要**。

このことから、各圏域にある県立病院や中核医療機関等の協力を得ながら、**地域の支援者に医療的な見地から助言・指導**を行う**スーパーバイズチーム**を新たに編成するもの。

2 スーパーバイズチームの役割

スーパーバイズチームは、**各市町村における協議の場**（地域自立支援協議会等）へ**参加**し、医療的ケア児の**個別ケース**について、医療的ケア児とその家族が身近な地域で安心して生活できるように、**医療的な見地から助言・指導**を行う**役割**を担う。

3 スーパーバイズチームに求められる機能

医療的ケア児を医療面から支える機能として「①退院支援」、「②日常の療養支援」、「③急変時の対応」、「④看取り」の4つがあるが、スーパーバイズチームは主に「②**日常の療養支援**」、「③**急変時の対応**」についての助言・指導を行う。

① 退院支援

在宅での円滑な生活の開始に向けた支援、保護者の看護・介護力のアセスメント、医療機器類の準備、訪問看護の実施計画等

② 日常療養支援

- ・ 在宅：訪問看護の状況確認、保護者の看護・介護状況の確認、保護者の疲労度に応じた支援
- ・ 保育所や学校：園医・学校医の活動支援、保育所や学校職員への技術的助言

③ 急変時の対応

保護者や看護職員、福祉職員、学校等の職員からの情報提供を受けて緊急性を判断し、入院の要否を判断

④ 看取り

終末期を予測し、②③を複合した支援、保護者や関係者の精神的な支援

4 スーパーバイズチーム事業の進め方

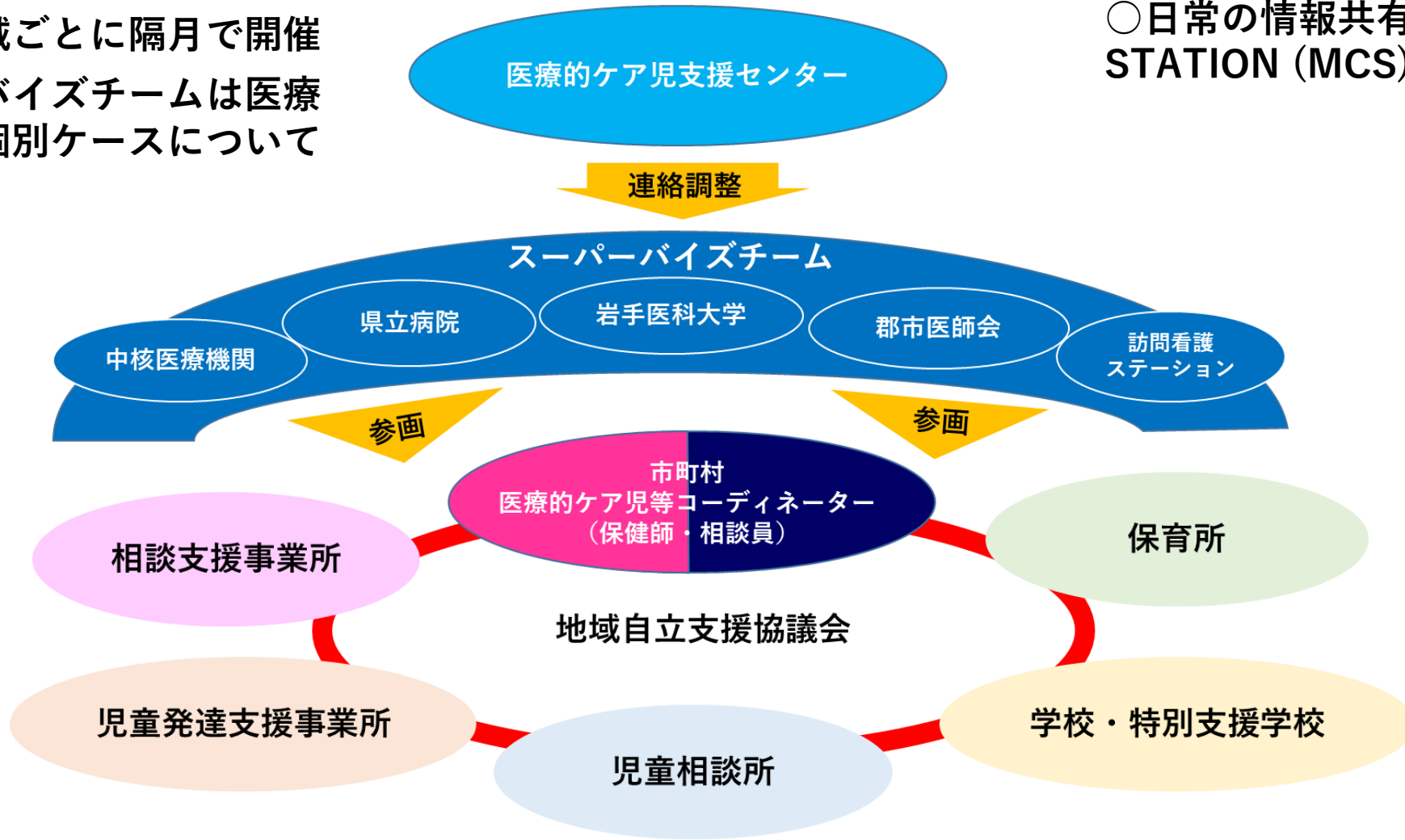
- ① 2次保健医療圏を基本に圏域ごとに、**医師や看護師等の医療関係者**（岩手医科大学、県立病院、郡市医師会、中核医療機関、訪問看護ステーション等）にスーパーバイズチームへの**参加を呼びかけ、チームを構成**。
- ② チームは市町村の**地域自立支援協議会や医療的ケア児支援の協議体に参加し、医療的ケア児の個別ケースについて医療的な見地から助言**（隔月1回：オンラインを想定）。
なお、会議出席に係る対価（1時間当たり7,600円/人）は県において予算化。
- ③ 会議開催までの間は、医療介護従事者等のための非公開SNS「**MedicalCare STATION (MCS)※**」上で、医療的ケア児の情報を共有し、**緊急時の対応が求められる際は、MCSによりチームから助言・指導**を行う。

※ 多職種連携をサポートする非公開型医療介護連携コミュニケーションツールであり、パソコン・タブレット等で操作でき、基本機能は無料で利用可能

スーパーバイズチーム 事業スキーム

- 会議を圏域ごとに隔月で開催
- スーパーバイズチームは医療的ケア児の個別ケースについて助言・指導

○日常の情報共有は「MedicalCare STATION (MCS)※」上で実施



医療介護現場がリアルタイムにつながる多職種連携ツール

MedicalCare STATION
メディカルケアステーション

市町村コーディネーター

〇〇さん（医療的ケア児）の就学に際し、学校側で何を準備すればよろしいでしょうか？

県立病院小児科 医師

気管切開していますので、喀痰吸引のために看護師〇名の配置と〇〇機器の設置が必要です。

市町村コーディネーター

承知しました。
学校関係者と調整します。

○助言・指導に係る医師等へ報償費は、**地域医療介護総合確保基金**(居宅等における医療の提供に関する事業)を活用予定。
本基金では、在宅医療の実施に係る拠点の整備や連携体制を確保するための支援等、在宅における医療を提供する体制の整備に対して助成を行っており、**重症心身障がい児者や医療的ケア児者等が安心して地域で過ごすための支援体制に活用**できるもの。

【スーパーバイズチーム設置に向けた事業スケジュール】

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
盛岡	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の精査（圏域や対象の病院等） ・事業の進め方を関係者間で共有 		<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーバイズチーム（SVT）編成に向け、各医療機関等にSVTの必要性を説明し、SVTへの参加を働きかける。 ・市町村の地域自立支援協議会に事業スキームを説明する。 						会議 開催 準備		SVTと地域自立支援協議会をつなぐ場を設定		<ul style="list-style-type: none"> ・各医療機関等からのチーム参加の可否を確認 ・MCSへの医療関係者や地域自立支援協議会委員等の登録手続きを進める 		
岩手															
中部															
胆江															
両磐															
気仙															
釜石															
宮古															
久慈															
二戸															